

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	「白神山地観光」復興事業	白神山地ルートの一部通 行止めを踏まえ、白神山 地への関心が薄れること のないよう、旅行会社に別 ルートの旅行商品を造成 してもらう他、首都圏で白 神山地のPRを行う。ま た、訪れた人に白神山地 の魅力により一層感じても らえるよう、白神ガイドの スキルアップ研修を行う。	1,538,000	委託・ 負担金・ 直営	・H27.3.3「あきた白神エリ アガイドスキルアップセミ ナー」開催。47名参加。 ・(株)朝日旅行大阪支店に 旅行商品造成業務を委 託。H26.10.18～2泊3日の ツアーを催行。伊丹空港 から10名参加。 ・JR東日本、青森県と共 同でH26.6.1「白神山地出 前講座」を東京・荒川区で 開催。野口健氏がゲスト。 来場者680名。	県、プナの学校 運営協議会	ガイド、観 光客等	平成26年4月1日	・ガイドセミナーのアン ケート結果では、93%の 人が「とても参考になった」 「参考になった」と回答。座 学だけでなく実地研修を 進む声も多かった。 ・旅行商品造成業務で は、ツアーを2回設定して もらったが、1回は最少催 行人数(8名)に届かず(7 名)、催行中止となった。 ・野口氏の特別講演のほ か、藤里町のガイド・齊藤 栄作さんらのトークセッ ションで来場者に白神山 地の魅力を伝えることが できた。特産品販売も完 売と盛況だった。	・ガイド研修については、実地 研修も含めてH27年度に自然 保護課が実施。 ・旅行商品造成業務につい ては、より魅力ある行程を設定 してもらうため、H27年度は旅 行会社の商品造成担当者を 招聘して白神山地を案内する こととしている。 ・H27年度の「白神山地出前 講座」は埼玉県の大宮駅で 物産展と同時開催。開催エリ アや実施方法を変えながら、 より効果的なPR方法で実施 している。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日									
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	五能線等のローカル線、 大館能代空港を活かした 広域観光推進事業	アフター秋田DCや国民文 化祭等の主要行事と連携 しながら、地域の様々な観 光資源やイベント情報等 の周知・PRの強化に努め る。	517,000	委託・ 負担金	・アフターDCの期間に、能 代市、藤里町、三種町、八 峰町と共同で地域観光を 推進している機能合体組 織で東京駅発着の1泊2日 (H26.12.6～7)のモニター ツアーを実施。内陸線・五 能線乗車と周遊バスを組 み合わせたツアーを行 い、15名の参加を集めた。 ・大館能代空港発着のお すすめルートなどを掲載し た観光パンフレット「空か らハイキング」を北秋田地 域振興局と共同で1万部 作成し、県外のイベント等 で配布。	機能合体組織 「あきた白神広 域観光推進会 議」	観光客等	平成26年4月1日	・モニターツアーのアン ケート結果では、訪問先 の満足度は概ね高く、参 加者全員が秋田県への再 訪を希望していた。 ・大館能代空港を起点と した旅の提案はあまりなさ れておらず、首都圏から 遠いイメージのある白神 山地をより身近に感じて もらう効果があった。	・今回は12月実施のモニター ツアーだったが、H27年度は8 月に実施。季節や場所を変え てモニターングすることで、 様々な角度から魅力ある観 光コンテンツを精査していく。 ・大館能代空港そのものの知 名度が低く、空港の利活用促 進事業と連携して実施してい く必要がある。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日									
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	白神の「食」を活かした誘 客推進事業	地域の様々な観光要素に スポットを当てた各種モニ ターツアーを実施し、顧客 志向の把握や、「あきた白 神地域」の認知度・知名度 を向上させる。	500,000	負担金	・能代市、藤里町、三種 町、八峰町と共同で地域 観光を推進している機能 合体組織で、あきた白神 地域のPRと二次交通アク セスの支援を行う周遊バ ス「白神日和号」を運行。 計9回、延べ169名の参加 を集めた。 ・東京都港区「あきた美彩 館」でメディア向けのプロ モーションイベントを開 催。参加したメディア関係 者14名に対し、あきた白 神地域の食材を使用した 料理を提供しながら観光 素材をPRした。	機能合体組織 「あきた白神広 域観光推進会 議」	観光客 等、首都 圏のメデ ィア関係者	平成26年4月1日	・「白神日和号」は1回の定 員を20名で実施したが、 ほぼ毎回定員に達する参 加状況だった。参加者ア ンケートにより、あきた白 神地域の売り込み素材を 精査できた。 ・イベント参加メディアの中 から、2社の記事掲載につ ながった。	・アンケート結果から売り込み 素材を検証し、次のツアー コース設定につなげる。 ・イベント参加メディアとの関 係を維持し、新たな観光素材 を提案することで、あきた白 神地域の露出を増やす。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	総務企画部長決裁 日								

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	多彩な資源を活かした白 神山地周辺観光推進事業	「あきた白神地域」の多様 な魅力を活かした誘客を 拡大するため、海水浴や キャンプなどの自然体験 資源を活用した誘客を行 う。	300,000	負担金	・「あきたタウン情報」誌へ あきた白神地域の海や山 のおすすめスポットや、グ ルメ情報、夏のイベント情 報などを広告掲載(7/25 発行の8月号に夏のイベ ントガイドとして掲載)。	機能合体組織 「あきた白神広 域観光推進会 議」	地域住民	平成26年4月1日	・域内の利用に止まってい る管内の施設等を全県に PRすることができた。	一定の成果が得られたの で、次年度以降は実施せず。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	観光情報発信強化事業	「あきた白神・たびネット」 等の情報ツールの充実や メディアへのパブリシティ 展開などにより、観光情報 発信の強化を図る。	1,694,000	委託・負 担金・直 営	・「あきた白神広域観光推 進会議」が運営するWEB サイト「あきた白神・た びネット」上で、地域の様 々な観光資源やキャンペ ーン・イベント情報の周知・P Rの強化に努めた。 ・8月18日～1月30日の募 集期間でブログコンテス トを実施し、期間内に26名 の応募があった。	県、機能合体 組織「あきた白 神広域観光推 進会議」	地域住 民、観光 客等	平成26年4月1日	・「あきた白神・たびネット」 のアクセス数は前年度 7,287件から21,905件に増 加。 ・ブログコンテスト入賞者 のブログを「あきた白神・ たびネット」上で公開。	・WEBサイトのアクセス解析な どを通じて、より魅力的な情 報を掲載していく。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日							総務企画部長決裁 日		
総務企画 部	菊地 智 英	地域企画 課	しらかみ観 光振興班	佐藤 はる か	0185-55- 8006	営業活動強化事業	PRパンフレットの増刷や 団体(公民館、社会福祉 協議会等)などへのプロ モーションを行うことによ り、営業活動の強化を図 る。	1,631,000	負担金・ 直営	・観光パンフレット「白神日 和」を1万部増刷してイベ ント等で配布した。 ・定例の旅行行事がある 団体として、県内の公民 館(170カ所)と東北各地 の社会福祉協議会(210カ 所)に対して視察研修プラ ンを送付した。	県、機能合体 組織「あきた白 神広域観光推 進会議」	地域住 民、観光 客等	平成26年4月1日	・観光パンフレットはイベ ントでの配布の他、モニタ ーツアー参加者や現地取材 に訪れたメディアにも配布 して活用。 ・公民館や社会福祉協議 会から視察研修プランに ついて問い合わせがあり、 視察先を紹介した。	・観光パンフレットは内容を見 直しながら継続して増刷。 ・送付先の団体から、次年度 以降も問い合わせがあるた め、引き続き問い合わせに 対応していく。
						平成26年4月1日～ 平成27年3月31日							平成27年10月30日		
福祉環境 部	永井 伸 彦	健康・予防 課	健康・予防 班	加賀谷 淑子	0185-52- 4333	元気で長生きできる健康 づくり情報発信事業	健康づくりや社会参加に 役立つ地域の社会資源の 情報を冊子にまとめ、活 用を促すことで、元気で長 生きできる健康づくりを推 進する。	313343	直営	①冊子:希望者へ配布お よび関連事業に活用中。 250部配布済み ②山本地域福祉環境部 ホームページに掲載	福祉環境部	一般住 民、関連 施設	平成26年4月1日	地域の情報が一冊にまと まる事によって「便利」「役 に立つ」との声が聞かれ た。	平成26年度は健康づくりの 中でも「運動」「温泉・入浴」を 主テーマとしたので、次年度 は社会参加を促す心の健康 づくり関連にも取り組む。
						平成26年9月～平成27 年2月							平成27年10月30日		